

【注意】発行当時の原稿をそのまま掲載しております。農薬について記載のある場合は、最新の農薬登録内容を確認し、それに基づいて農薬を使用して下さい。また、成果情報によっては、その後変更・廃止されたものがありますのでご注意下さい。

[成果情報名] 飼料用とうもろこし（WCS用）中生「P2307」の品種特性

[要 約] 「P2307」は、着雌穂高が高いものの倒伏が少なく、乾物収量が優れている。

[部 署] 山形県農業総合研究センター畜産研究所・草地環境部

[連 絡 先] TEL 0233-23-8817

[成果区分] 普

[キーワード] WCS用とうもろこし、中生、乾物収量

[背景・ねらい]

飼料作物の新品種、系統の中から、本県の気象条件下における栽培適応性のある推奨すべき有望な品種を選定するため、中生「P2307」について、標準品種である「32F27」及び「SH4812」と3か年継続して比較調査する。

[成果の内容・特徴]

- 1 中生「P2307」の生育特性は次のとおりである。
 - (1) 標準品種に比べ、稈長が長く、着雌穂高は高い（表1）。
 - (2) 着雌穂高が高いものの、倒伏は軽微である（表2）。
- 2 中生「P2307」の収量性は次のとおりである。
 - (1) 標準品種に比べ、特に茎葉部の乾物収量に優れ、総乾物収量が3か年の平均で、6%多収である（表3）。
 - (2) 標準品種に比べ雌穂割合は少なく、TDN収量が高いものと推定される（表3）。

[成果の活用面・留意点]

- 1 10aあたりの栽植密度は、7,000本程度とする。
- 2 栽培法に関しては、県の飼料作物栽培指針に準ずる。
- 3 商品名は「パイオニア125日」である。
- 4 標準品種は、H30～R1は「32F27（県有望品種）」を用い、R2は「32F27」の販売中止に伴い、「SH4812（県有望品種）」を用いた。

[具体的なデータ]

表1 生育特性

年度	品種名	播種日	出芽日	出芽 良否	初期 生育	絹糸抽出期		黄熟期		稈長 (cm)	着雌穂高 (cm)
						(播種からの日数)	(播種からの日数)	(播種からの日数)	(播種からの日数)		
H30	P2307	5/16	5/25	8.0	8.7	7/25	(70)	9/16	(123)	298	185
	32F27(標準品種)	5/16	5/25	7.7	8.7	7/26	(71)	9/10	(117)	291	135
R1	P2307	5/16	5/25	8.7	8.0	7/30	(75)	9/19	(126)	342	188
	32F27(標準品種)	5/16	5/25	7.3	8.7	7/28	(73)	9/15	(122)	298	132
R2	P2307	5/18	5/27	9.0	7.0	8/4	(78)	9/22	(127)	349	189
	SH4812(標準品種)	5/18	5/27	8.7	6.7	7/27	(70)	9/19	(124)	332	158
3ヵ年 平均	P2307	5/16	5/25	8.6	7.9	7/30	(74)	9/19	(125)	330	187
	標準品種	5/16	5/25	7.9	8.0	7/27	(71)	9/15	(121)	307	142

表2 耐病性および耐倒伏性

年度	品種名	病害(り病程度:1(無)~9(甚)、り病率)							倒伏率 (%)	折損率 (%)
		すす紋病 (1~9)	ごま葉枯病 (1~9)	黒穂病 (%)	根腐れ病 (%)	すじ萎縮病 (%)	紋枯病 (%)	さび病 (%)		
		H30	P2307	1.3	2.8	0.0	0.0	0.0		
	32F27(標準品種)	1.7	3.0	0.0	0.0	0.0	19.7	1.0	0.0	1.0
R1	P2307	1.8	4.2	0.0	0.0	0.0	6.3	1.0	0.0	2.3
	32F27(標準品種)	1.7	5.2	0.0	0.3	0.0	8.0	1.0	0.0	1.7
R2	P2307	1.3	2.0	0.0	0.0	0.0	3.2	2.0	0.0	0.4
	SH4812(標準品種)	1.7	1.3	0.0	0.0	0.0	1.6	1.3	0.0	0.8
3ヵ年 平均	P2307	1.5	3.0	0.0	0.0	0.0	9.8	1.3	0.9	1.3
	標準品種	1.7	3.2	0.0	0.1	0.0	9.8	1.1	0.0	1.2

表3 収量性

年度	品種名	生草収量(kg/10a)			乾物収量(kg/10a)			対標準比 (%)	乾雌穂 割合 (%)	推定 TDN収量 (kg/10a)
		茎葉	雌穂	全体	茎葉	雌穂	全体			
H30	P2307	7,519	2,061	9,580	1,507	1,088	2,595	(104)	41.9	1,802
	32F27(標準品種)	5,989	2,061	8,050	1,290	1,214	2,504		48.5	1,783
R1	P2307	7,635	2,411	10,046	1,687	1,380	3,067	(109)	45.0	2,155
	32F27(標準品種)	6,404	2,385	8,789	1,480	1,337	2,817		47.5	1,998
R2	P2307	6,182	2,245	8,427	1,451	1,360	2,811	(106)	48.4	2,000
	SH4812(標準品種)	4,783	2,365	7,148	1,292	1,355	2,647		51.2	1,904
3ヵ年 平均	P2307	7,112	2,239	9,351	1,548	1,276	2,824	(106)	45.2	1,986
	標準品種	5,725	2,270	7,995	1,354	1,302	2,656		49.0	1,895

[その他]

研究課題名：飼料作物優良品種選定調査

予算区分：県単

研究期間：令和2年度(平成30年度~令和2年度)

研究担当者：秋葉浩一、樋田剛、菅和寛

発表論文等：なし